

# 2023年3月期第二四半期 決算補足資料

2022年11月14日



INCLUSIVE

# 目次

- 1.新事業セグメントについて**
- 2.2023年3月期2Q 連結業績の概要と今後の見通し**
- 3.上期振り返りと今後の方針**
- 4.各セグメントにおける直近の事業事例**

# 新事業セグメントについて

# セグメント開示への移行（2023年3月期第二四半期より）

2022年6月に開示した「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」の通り、  
今回より下記の新事業セグメントでの開示を実施

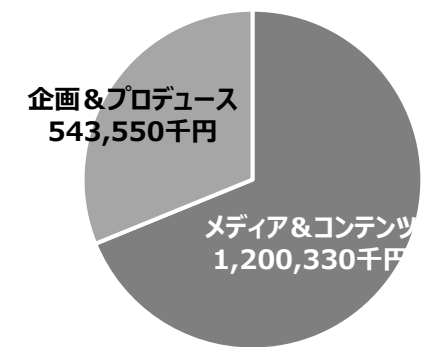
## サービス領域

- メディアマネジメントサービス
- 広告運用サービス
- プロモーション企画・PRサービス
- エンジニアリングサービス
- クリエイターエージェンシーサービス
- 個人課金サービス
- ゴルフテックサービス
- 宇宙関連サービス
- 料亭運営・ECサービス

## 新事業セグメント

- メディア&コンテンツ
- 企画&プロデュース
- 食関連
- その他

<22年3月期時点での構成比率>

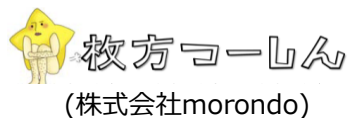


# 各事業セグメントについて

事業セグメント	事業範囲	主な収益モデル
メディア &コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"><li>従来のサービス領域のうち、広告運用サービス、プロモーション企画・PRサービス、エンジニアリングサービスを除く各サービスが含まれる</li><li>デジタルメディア、漫画に関連する一切の事業</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>メディアコンサルティングフィー</li><li>広告収益からのレベニューシェア</li><li>制作支援・ディレクションフィー</li><li>個人課金</li></ul>
企画 &プロデュース	<ul style="list-style-type: none"><li>従来のサービス領域のうち、広告運用サービス、プロモーション企画・PRサービス、エンジニアリングサービスと、オレンジ・アンド・パートナーズとジョージクリエイティブカンパニーが含まれる</li><li>企画、広告に関連する一切の事業</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ブランディングコンサルティングフィー</li><li>企画開発・デザイン納品売上</li><li>アドネットワーク運用収益</li><li>広告実施・代理店手数料</li><li>システムの受託・開発</li><li>収益は下期に偏る傾向</li></ul>
食関連	<ul style="list-style-type: none"><li>現在のところ、下鴨茶寮ブランドを活用したサービス・商品提供に関する一切の事業</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>主な展開チャネル<ul style="list-style-type: none"><li>レストラン（京都、銀座）</li><li>EC・通販</li><li>百貨店ででの販売</li><li>ライセンス</li></ul></li><li>収益は下期に偏る傾向</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>上記に含まれない宇宙関連事業を含む新規の事業</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>衛星データ利活用によるコンサルティングフィー</li></ul>

# 各事業セグメントのグループ会社

## メディア&コンテンツ事業



Newsletter Asia  
株式会社



## 企画&プロデュース事業



GEORGE  
CREATIVE  
COMPANY



## 食関連事業



## その他新規事業（宇宙関連）

INCLUSIVE  
SPACE  
CONSULTING

# 2023年3月期2Q 連結業績の 概要と今後の見通し

# 2023年3月期2Q 連結業績の概要

- 売上高は、新たにグループに加わった株式会社OGs、株式会社ナンバーナイン、オレンジグループ（3ヶ月分）が上乘せされたことで対前年同期比で純増加。また、旧プロモーション企画・PRサービスにおける新規クライアントの獲得は順調に推移
- 新規の株式取得に伴うのれん償却費が発生。旧メディアマネジメントサービス、旧クリエイターエージェンシーサービス、旧ゴルフテックサービスにおける事業展開の進捗の遅れと、グループ規模拡大に伴うPMIや管理体制強化に関連する費用、資本性資金調達に関連する租税公課、新規サービス開発に係る費用が増加したこと等により、調整後EBITDA、営業利益ともに対前年同期比減益で着地

(単位：千円)

	2022/3期 2Q 実績	2023/3期 2Q 実績	対前期増減	
				(%)
売上高	693,833	1,851,529	1,157,695	166.9%
売上原価	352,160	1,119,469	767,309	217.9%
売上総利益	341,673	732,059	390,386	114.3%
販売費及び一般管理費	358,149	950,247	592,521	165.3%
調整後EBITDA (※)	24,809	▲85,391	▲110,200	-
営業利益	▲16,476	▲218,187	▲201,711	-
経常利益	▲15,424	▲195,964	▲180,540	-
親会社株主に帰属する当期純利益	▲24,765	▲222,618	▲197,853	-

(※) 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及びのれん償却費 + 株式報酬費用 + 寄付金



# 2023年3月期2Q セグメント別業績の概要

## ■ メディア&コンテンツ事業

- 株式会社OGSを2021年10月に子会社化したこと及び株式会社ナンバーナインを2022年1月に子会社化したことにより売上高及びコストが増加。また、前述2社の株式取得に伴うのれん償却費の発生、資本性資金調達に関連する租税公課が発生、業容拡大に伴い採用を強化したことに伴う人件費の増加やグループ規模拡大に伴う販売管理費が増加。一方、旧メディアマネジメントサービスの事業展開が想定よりも進捗しなかったことが響き減益が増加

## ■ 企画&プロデュース事業

- 株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ、株式会社ジョージクリエイティブカンパニーを2022年5月より子会社化したことにより売上高及びコストが増加。また、旧プロモーション企画・PRサービスにおいて新規クライアントの獲得が順調に推移したことにより、売上高は増加。一方、前述2社の株式取得に伴うのれん償却費が発生したこと等により利益は微減

## ■ 食関連事業

- 株式会社下鴨茶寮を2022年5月より子会社化したことによる純増加。夏にかけて新型コロナウイルス感染症再拡大の影響から料亭事業が低迷、同社の株式取得に伴うのれん償却費が発生

(単位：千円)

		2022/3期 2Q 実績	2023/3期 2Q 実績	対前期増減	
					(%)
メディア&コンテンツ	売上高 (※)	490,984	928,740	437,756	89.2%
	セグメント利益	▲45,692	▲200,871	▲155,179	-
企画&プロデュース	売上高 (※)	279,425	698,533	419,108	150.0%
	セグメント利益	29,216	27,571	▲1,645	-
食関連	売上高 (※)	-	326,289	326,289	-
	セグメント利益	-	▲43,488	▲43,488	-
その他	売上高 (※)	-	-	-	-
	セグメント利益	-	▲1,399	▲1,399	-
調整額		▲76,576	▲102,033	▲25,457	-
合計	売上高	693,833	1,851,529	1,157,695	166.9%
	営業利益	▲16,476	▲218,187	▲201,711	-

(※) セグメント間の内部売上高又は振替高を含んだ金額

# 2023年3月期 通期業績予想（連結）

- 2022年5月16日に公表した2023年3月期の通期業績予想について修正を行います
- メディア&コンテンツ事業
  - 旧メディアマネジメントサービスにおける新規クライアントの獲得は順調に推移したものの、獲得したクライアントへのサービスのアップセル展開の進捗の遅れとディスプレイ広告市場の冷え込みの影響を受ける。グループ規模拡大に伴うPMIや管理体制強化の費用等の販売管理費、事業開発・マネジメント人材の採用強化による人件費及び採用研修費、資本性資金調達に関連する租税公課といった、PMIに関連するコストや新規サービス開発に係る費用の増加を織り込む。旧クリエイターエージェンシーサービスにおいては、WEBTOON開発の先行投資の積極化によりコスト増加。旧ゴルフテックサービスは、既存店の売上拡大とFC化の進展に注力
- 企画&プロデュース事業
  - 旧プロモーション企画・PRサービスにおいては大型案件の受注が継続し当初想定を超過。新たにグループに加わったオレンジG各社は一部の想定案件の期ズレ等を織り込み微減。その他は当初想定とほぼ横ばいを見込む
- 食関連事業
  - 上期のコロナ影響は限定的。収益認識基準の適用により、当初予算の売上高（総額表示）から顧客へ支払う出店負担金等を差し引いた金額を売上高（純額表示）の額として見込む（利益に影響なし）。その他は当初想定とほぼ横ばいで、食領域に関連するコマースの繁忙期が下期に偏るため、下期偏重の売上・利益計画

（単位：千円）

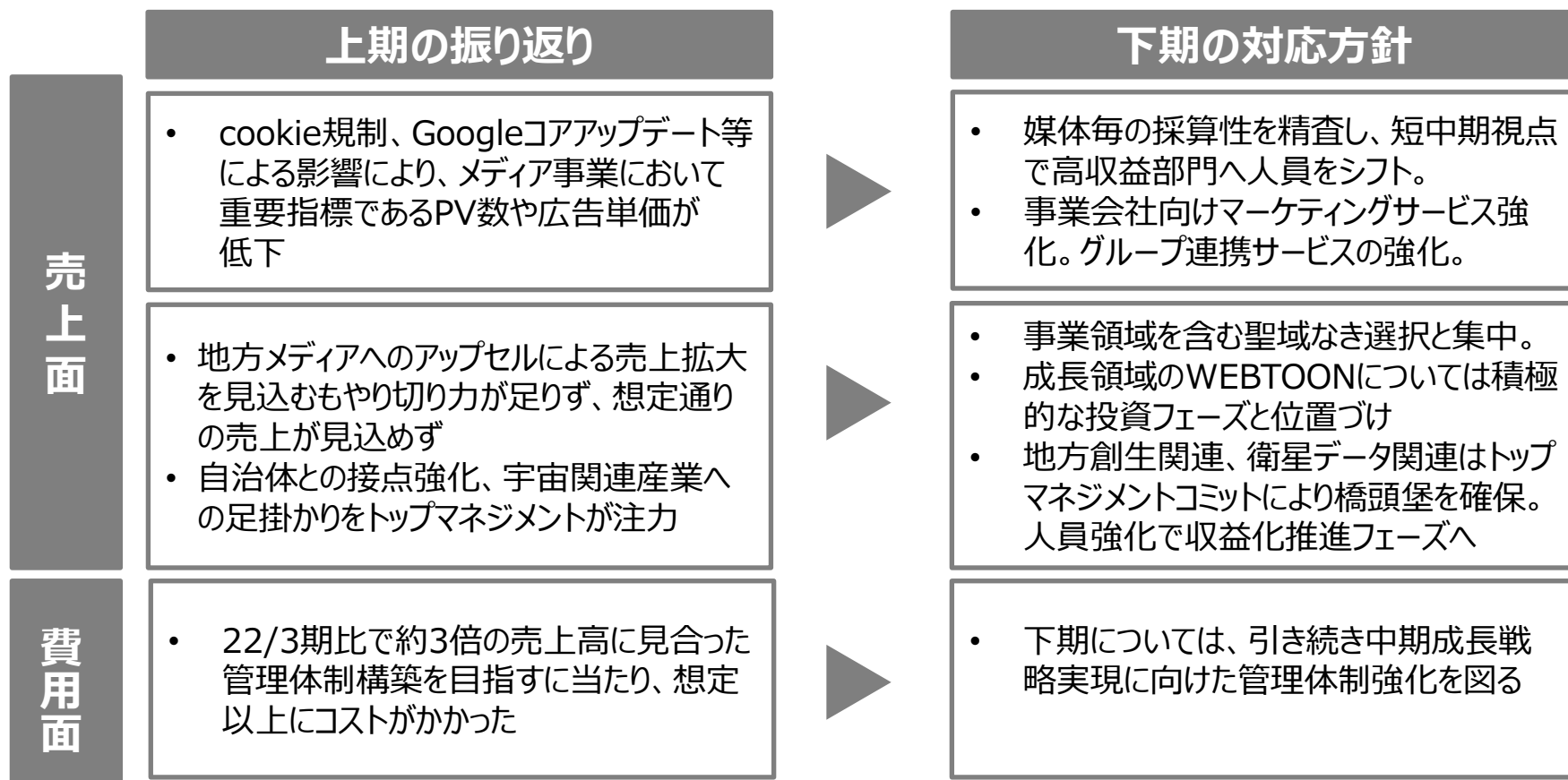
	2023/3期 業績予想 (前回)	2023/3期 業績予想 (今回)	2022/3期 実績	対前回発表予想	
					(%)
売上高	5,580,546	5,046,185	1,743,880	▲534,361	▲9.6
調整後EBITDA (※)	379,414	34,547	71,431	▲344,866	▲90.9
営業利益	100,025	▲271,041	▲42,388	▲371,066	-
経常利益	85,063	▲245,774	▲30,745	▲330,837	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	865	▲365,698	▲115,423	▲366,564	-

(※) 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及びのれん償却費 + 株式報酬費用 + 寄付金

# 上期振り返りと今後の方針

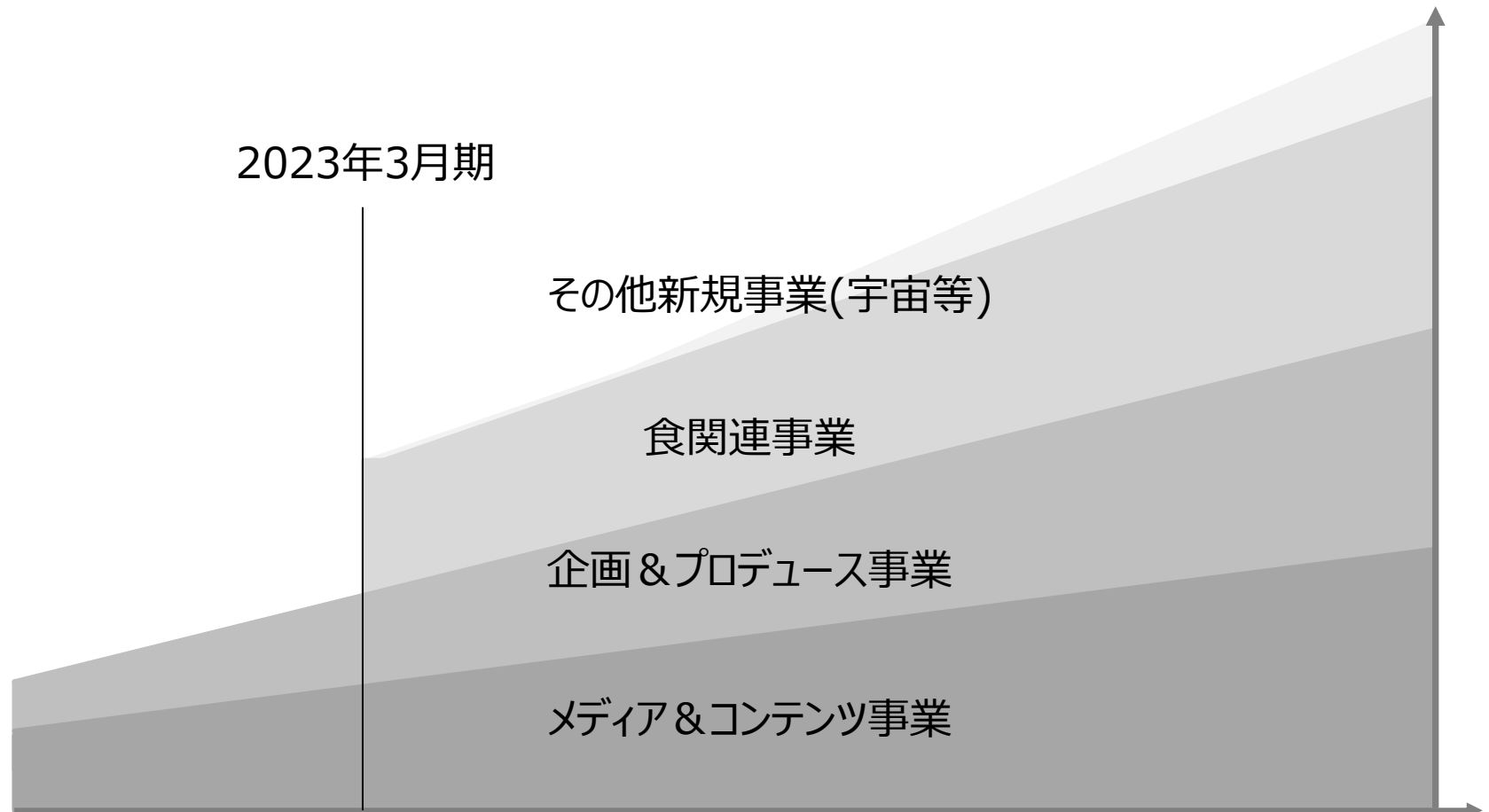
# 23/3期上期の振り返りと同下期の対応方針

- 23/3期上期については、メディア&コンテンツ事業における外部環境の悪化（cookie規制、Googleコアアップデート等による影響）やアップセル展開が想定通りに進まなかったことにより、予算未達で着地。下期は媒体毎の採算管理の徹底やトップマネジメント層を含めた拡販体制強化により収支改善を図る。
- 一方、事業規模拡大に見合った管理体制の強化については、下期も引き続き実施。中期成長戦略（次頁参照）の実現に備える。



# 中期成長戦略の考え方 (2022年6月「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」より)

メディア&コンテンツ事業・企画&プロデュース事業・食関連事業の3セグメントを中心に  
各領域の深耕と連携サービス開発などでシナジーを創出する。  
新規領域 (宇宙・衛星データ他) の事業開発リソース投下も継続的に取り組んでいく



※今期より事業セグメントを再整理し、中長期的な戦略目標をそれぞれのセグメントで規定し事業を推進してまいります。

# 中長期の成長に向けた進捗状況：2021年度との対比

## 全体

グループ拡大により大幅増。  
オレンジグループを除いた比較においても、大幅増収

売上高：50億4千万円<sup>\*1</sup> 前年度の約3倍

## メディア & コンテンツ

協業先の媒体社との取り組み増加とソリューション増加。オレンジグループ連結の影響を除いても、漫画のデジタル配信強化、取組先メディアの増加により昨年度計画通りの進捗

売上高：19億4千万円<sup>\*2</sup> 前年度の約1.5倍

## 企画 & プロデュース

コンサルティング・企画から運用まで一気通貫したサービス提供。オレンジグループ連結の影響を除いても、クライアントポートフォリオ拡大の影響から昨年度計画以上の進捗

売上高：16億6千万円<sup>\*2</sup> 前年度の約3倍

## 食関連

オレンジ連結により新規に事業セグメントとして設定。料亭で培ったブランド力を活かし、ECや地域産品プロデュースの取り組み強化

売上高：17億1千万円<sup>\*2</sup> 前年度から純増

\*オレンジグループの連結財務諸表への取込みは、第二四半期から開始しています

\*1 本日公表した2023年3月期の連結業績予想です

\*2 セグメント間の内部売上高又は振替高を含む各セグメントの概算売上高です

# 中長期の成長に向けた施策への着手

## 短期（1年内）

## 中期（2～3年）

## 長期（3年～）

### メディア &コンテンツ

\*3

- レガシー地域メディアとの事業連携強化\*1
- 漫画・デジタルコンテンツ制作体制の強化\*2

- 新規地域メディア立ち上げ加速
- オリジナルIP開発・他社連携
- ゴルフテックサービス開始

- 地域メディアの全国ネットワーク構築
- コミック配信の海外展開
- オリジナルIP関連事業拡大

### 企画 &プロデュース

\*4

- ブランディングから広告/SNS運用施策まで一気通貫サービス構築
- 地域関連プロモーション企画のサービス「型化」

- 自治体関連プロモーションのサービスの「型化」
- SNS運用ソリューション（SaaS）化

- 地域ブランドプロデューサーの育成・プラットフォーム化
- 宿泊施設開発・運用の一気通貫サービス

### 食関連

- 既存EC事業の強化
- 地域産品開発PoC

- 地域EC事業強化
- 地域産品開発加速

- 料亭のREIT化等複合的な事業展開

### その他 (宇宙関連)

- 戦略子会社ISCの設立
- 衛星データ利活用実証実験実施
- 発射場開発関連プロモーション支援

- 農業関連衛星データサービス提供開始
- 漁業/土木関連衛星データ利活用実証実験
- 投資活動の積極化

- 農林水産業・行政のマネジメント最適化サービスの提供
- 衛星関連事業の上場

\* 1 昨年度は30メディア以上を開拓

\* 2 2022年3月時点の配信本数は6,500冊以上、昨年度10月との比較でプラス1,000冊の配信強化

\* 3 従来の、メディアマネジメントサービス、クリエイターエージェントサービス、個人課金サービス、ゴルフテックサービスを集約しています

\* 4 従来の、広告運用サービス、プロモーション企画・PRサービス、エンジニアリングサービスを集約しています

# 各セグメントにおける直近の事業事例

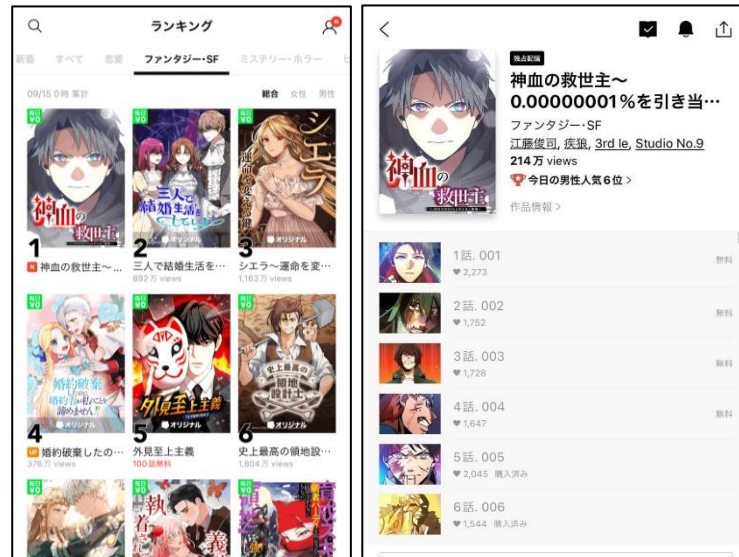


# WEBTOON作品の制作・配信開始

## ●『神血の救世主～0.00000001%を引き当て最強へ～』



2022年9月にナンバーナインが手掛けるWEBTOON作品第一弾として配信開始。  
LINEマンガで公開初週に「新着」 「ファンタジー・SF」カテゴリーで総合1位を獲得。  
また、公開後1ヶ月で200万viewsを突破。



## ●『晴天のデルタバイ』



2023年2月リリース予定（2022年9月に開催された「北海道宇宙サミット2022」にて、イベント参加者限定で先行リリース）。

宇宙産業とロケット開発の理解促進と認知拡大を目的に、人気漫画作品『左ききのエレン』の作者であるかっぴー氏を原作者として、インターステラテクノロジズ株式会社やSPACE COTAN株式会社、北海道大樹町の協力のもと、現在制作中。

他にもWEBTOON制作企画が30作品程度進行中であり、順次リリース予定

# 文化観光事業「Open Winery 2022」



日本ワインを文化資源として山梨県の観光をより活性化させ、地域創生に貢献する事業として、文化庁の「観光再開・拡大に向けた文化観光コンテンツの充実事業」に採択。

ワイナリー（生産者）や山梨県在住・出身の新進気鋭の料理人も参画し、山梨の地域ぐるみで文化観光を推進する取り組みとして、2022年11月5日にイベントを開催し、盛況の中終了。

**地域資産になる事業として成長させ、持続的に地域活性化に貢献できるビジネスモデルの確立、  
および他地域への横展開を目指す**



# 医療施設のプロデュース、デザイン

オレンジ・アンド・パートナーズが施設の基本構想、コンテンツ企画、ネーミングなどのプロデュースを担当、施設全体の空間デザイン、ロゴやビジュアルデザインはジョージクリエイティブカンパニーが担当し、桜十字病院による医・食・住のヘルスケアテーマパーク「メディメッセ桜十字」が2022年10月に熊本市中央区にてオープン。



地元の人々が日常的に訪れるスーパーマーケットの3階に場所を構え、より暮らしに密着しながら健康を底上げしていく新しい予防医療施設。

Daylight Cycleをテーマにまるで公園のような開放感と温もりある空間で人間ドックや健康診断を受けることができる。

また、桜十字病院自慢の医食同源の考えを大切にした健診食など、ドック受診者や一般のお客様向けに「食」からココロとカラダを満たすためのコンテンツも各種用意。

人生100年時代と言われる現代において、医療業界を飛び出し様々なジャンルとのコラボレーションや挑戦が詰まった施設として、新しい予防医療モデルを目指す。



「地域予防医療×デザイン」。基本構想から空間デザインまで包括的にプロデュース、地域生活者と医療法人の規定概念を空間デザインでアップデートしていく。

## 下鴨茶寮、3年連続ミシュラン一つ星獲得

『ミシュランガイド京都・大阪2023』にて一つ星を獲得（3年連続）。世界遺産・下鴨神社の“包丁人”として160年以上の歴史を紡いできた「下鴨茶寮」のブランドを軸に事業多角化を推進



コロナ禍による悪影響からの各店舗売上立て直しと、  
EC事業やふるさと納税返礼品開発など店舗外売上も強化

## 地方自治体（北海道大樹町）との包括連携協定締結



**宇宙版シリコンバレー構想の中心都市「大樹町」における衛星データを活用した地域産業、行政業務の効率化、省人化の推進を合意。**

**合わせて自社メディア『北海道Likers』やオリジナルWEBTOONにより大樹町をブランディング。  
包括的に自治体をエンパワメントしていくプロジェクトの事業化と横展開を加速させる**



# 釧路市でのPoC（概念実証）においても 経済産業省「衛星データ利用環境整備・ ソリューション開発支援事業」への採択が決定

2022年8月の北海道大樹町での酪農分野における採択に続き、  
経済産業省「令和4年度宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業（SERVISプロジェクト）のうち衛星データ  
利用環境整備・ソリューション開発支援事業」における衛星データ無料利用事業者公募において、  
北海道釧路市の林業分野での採択が決定。  
「Tellus」上での商用衛星データ等の利用によって林業のSXについてPoC（概念実証）を実施する。



## 林業のSX



## 林業分野での衛星データ活用による業務効率化、省人化

実証の対象となる釧路市内の林において、カラマツ、トドマツなどの樹種判別の精度の検証と、伐採後の加工方法や流通に影響を与える病気の有無の把握などに取り組み、林業の課題解決に向けた事業として実現可能性の検討を進めていく。

# INCLUSIVEが提供できる地域創生施策

## 地域DX

- ・総合計画現状分析/ビジョン策定  
※市民合意形成プラットフォーム運営
- ・自治体データ連携基盤の導入支援
- ・スマートシティ戦略策定
- ・交付金/補助金獲得支援

INCLUSIVE

## ふるさと納税返礼品開発

- ・下鴨茶寮プロデュース  
※ミシュラン1つ星料亭
- ・食品加工会社運営  
※自治体との共同運営



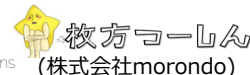
## 地域SX (スペーストランスフォーメーション)

- ・圃場土壌成分調査
- ・適正肥料量測定
- ・収穫量予測
- ・耕作作物把握
- ・休耕地状況把握
- ・水道管漏れ検知 (農業用水道含む)
- ・地すべり予測
- ・災害時土地状況把握
- ・ロケット実験施設/発射場計画の推進

INCLUSIVE  
SPACE  
CONSULTING

## 地域発信力強化

- ・市民向けデジタル情報メディア運営
- ・関係人口向け情報メディア運営
- ・SNS運用代行
- ・発信者 (デジタルライター) 育成講座



## 地域ブランディング

- ・総合ブランディング計画
- ・ゆるキャラプロデュース
- ・マスメディア向け広報
- ・アンテナショップ運営
- ・オリジナルWEBマンガ制作
- ・YouTube用動画制作
- ・オリジナル映画製作
- ・特番ラジオ番組制作



GEORGE  
CREATIVE  
COMPANY



グループ全体の包括的なテクノロジー&クリエイティブ力を掛け合わせたソリューションを強みに  
多岐にわたる領域で自治体DXと地域創生を後押ししていく

# Disclaimer

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社の過去数値または将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績は記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、当社グループの財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。本資料に含まれる市場情報等は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。





**INCLUSIVE**